

週報

こひつじ

第39巻 16号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

森の教会に導かれて(三)

米村 幸子

5
 私がジャックさんたちと住み始めたのは、それからまもなくのことです。
 単純な思いだけでした。

もちろんそこに至るまでの道が平坦だったとは言えません。親の理解を得るにはかなりの時間がかかりました。
 その思いを私が最初に持ったのは、少女時代に通った教会への、あの森の小道においてではなかったかと思うことがあります。あの道を歩いていいたとき、私の心は美しいものへの憧れでいっぱいだったことを今でも思い出します。

こうして私は高校時代には思ってもみなかった「伝道と奉仕の生活」へと導かれて行つたのです。ごしました。結婚後は、ご存じの

でもそれは「世の栄達の道を放棄して」というような悲壮な決意によるものではありませんでした。えてきました。でも、そんな私の人生の基礎を

造つてくださった方は、やはりジャック・ロッカーさんです。今一つ私の心を動かしたのは、ジャックさんの存在そのものから溢れ出る愛です。

そこで最後に、ジャックさんとの出会いを通して私が学んだことを、いくつかお話しして終わりたいと思います。ジャックさんは私に話しかけるときはいつも、じつと顔を見て、「幸子」

ひとつは、ジャックさんの通訳をしていた広子さんの生き方です。あたかも、「今私に関心があるのはあなただけですよ」
 と言わんばかりの表情で。

私は末っ子で、なまけもので、特別なことを話すわけではないのに、そのときは、ほんとうにジャックさんは私のことだけを愛してくださっているのではないかと驚きでした。そして広子さんだを驚きでなく、ほかの若い女性たちもみなそうなのをみて、でもそれはジャックさんの特徴で、だれに対しても同じだったのです。

「えっ、教会に来たら、こんなに働かなければいけないのかしら、いやだな」
 そのことを通してわかったのは、神様の愛がそうなのだということ

と一瞬思つたものです。神様も、わたしたち一人ひとりに、こう言われています。

と同時に、だれかのために無償で働く彼らの姿に私の心は強くひきつけられました。私にとつてそれは、これまで見たことのない新しい生き方だったのです。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。

(イザヤ書四三の一)
わたしはあなたを愛している。
(同四三の四)

先週の出席

ほんとうは全人類を愛しておられるのだけれど、個人的に私をこ
覧になるときは、少なくともその
ときだけは、

先週の礼拝

「私が愛するのは、あなただけで
他にはいない」

と感じさせてくださるのが、神
様の愛なのではないでしょうか。
それは私自身の体験でもありま
す。

○説教は、ヨハネ二一の二一、
二二から。イエスの「わたしに従
いなさい」という言葉に対するペ
テロの返答についてでした。

召天者記念礼拝

果たすべきは、自分の責任です。
ただ単純にイエスについてゆけば、
それでよいのだと思うとなんだか
少し楽になりました。

最近では、一般の会社の社員さえ、
スパイ容疑で拘束されたりして、
中国における取材活動がかなりき
びしくなってきたようです。
地区などにも出かけて取材してい
ましたので、今回の帰国ニュース
にはちょっとほっとしています。

今日の礼拝

その愛にふれたとき、私は、そ
のような神様に生涯かけてお仕え
したいと思ったのです。その思い
は、あれから六〇年がたった今も
私のうちにふつふつと湧きあがっ
てくるのです。(終)

ペテロはイエスの言葉には答え
ず、
「主よ。この人はどうですか」
ともうひとりの弟子を指さした
のです。イエスはそれを喜ばれず、
「それがあなたに何のかかわりが
ありますか。あなたは、わたしに
従いなさい」
と言われた、というのです。

四月一六日の礼拝後、教会墓地
において召天者記念礼拝を行ない
ました。三年ぶりのことです。自
分の走るべき行程をりっぱに走り
終え、今ではイエス様とともに天
におられる方がたを偲ぶことがで
きました。参加者は約二〇名。

ニコラス宣教師夫妻の長女ケリ
ーさんから久しぶりに便りがあり
ました。少女時代を過ごした大津
のことが懐かしいそうです。

○第一礼拝は午前一〇時から、
第二礼拝は午前一一時から。

○説教は江藤洋子さん。

『キリストにならいて』の著者は、
この箇所についてこう書いていま
す。

牧師身辺

牧師のメールアドレス。
yonemura@ja2.so-net.ne.jp

○礼拝後、二階で長老会を開き
ます。

「わが子よ、好奇心をもってはい
けない。無用のことに気を遣って

背中から胸にかけて痛みがあり、